



SMA、2024年1月から9月期の業績を発表。売上高と利益のガイダンスを下方修正、再編・改革プログラムの詳細を提示

- 1月-9月までの売上高は10億5,970万ユーロ (日本円で約1,730億円)
(2023年1月-9月期: 13億3,740万ユーロ)
- 特別高圧連系・プロジェクトソリューション部門が再び大幅成長を記録
- EBITDAは8,350万ユーロ (2023年1月-9月期: 2億3,120万ユーロ)
- 受注残は14億4,000万ユーロ(2023年9月30日: 20億2,000万ユーロ)
- 自己資本比率は41.8% (2023年12月31日: 42.3%)
- グループ全体の再編・改革プログラムを開始
- 取締役会が通年のガイダンスを調整: 売上高は14億5,000万ユーロから15億ユーロの間、EBITDAは-2,000万ユーロから2,000万ユーロの間と予想

2024年11月14日、ニーステアール - 2024年1月から9月期のSMA Solar Technology AG (SMA/ISIN: DE000A0DJ6J9/FWB: S92) の売上高と利益は、予想通り前年との比較で減少しました。グループの売上高は前年の13億3,740万ユーロに対し、10億5,970万ユーロに達しました。**(日本円で約1,730億円)** ホームソリューション部門および産業用ソリューション (C&I) 部門は、市場の減速が持続している影響を大きく受けました。こうした状況を背景に、ホームソリューション部門の売上高は1億4,700万ユーロ (2023年1月-9月期: 4億8,620万ユーロ)、産業用ソリューション (C&I) 部門の売上高は1億4,870万ユーロ (2023年1月-9月期: 3億3,370万ユーロ) となりました。計画通り、特別高圧連系・プロジェクトソリューション部門は大幅な売上成長を記録し、2023年同期の5億1,750万ユーロに対し、7億6,400万ユーロを達成しました。

販売量の減少とそれに伴うグループのコストベースの増加により、グループのEBITDA (イービットディーイー: 利払い・税引き・償却前利益) は、2023年1月から9月期の2億3,120万ユーロ (EBITDA マージン: 17.3%) に対し、8,350万ユーロに減少しました (EBITDA マージン: 7.9%)。今会計年度のEBITDAには2024年第1四半期のelexon GmbH株式売却による1,910万ユーロも含まれています。また、2024年9月に子会社であるSMA Altenso GmbHがプロジェクト企業の売却に成功しました。その他、営業利益に計上された売上による利益への貢献度は、百万ユーロ未満です。

EBITDA (イービットディーイー: 利払い・税引き・償却前利益) は、前年同期の2億160万ユーロに対し、4,600万ユーロとなりました。これはEBIT マージン4.3% (2023年1月-9月: 15.1%) に相当します。売上高の減少、価格水準の低下、利用率の低下、そしてそれに伴う固定費の補正不足により、ホームソリューション部門のEBITは-4,660万ユーロ (2023年1月-9月: 1億3,690万ユーロ)、産業用ソリューション (C&I) 部門のEBITは-7,720万ユーロ (2023年1月-9月: 1,580万ユーロ) となり、前年を大幅に下回りました。特別高圧連系・プロジェクトソリューション部門は、売上高が高水準でそれに伴う固定費の減少、また収益性の高い製品ミックスにより前年同期比で収益性が大幅に向上し、EBITは1億5,440万ユーロ (2023年1月-9月: 4,730万ユーロ) を達成しました。



SMA の最高経営責任者 (CEO) である Jürgen Reinert のコメント「当社の特別高圧連系・プロジェクトソリューション部門は、2024 年第 3 四半期にも強い成長を遂げ、売上高と利益が再び不均衡なほどの大幅上昇を記録しました。一方、ホームソリューション部門と産業用ソリューション (C&I) 部門は引き続き非常に厳しい状況にあります。この流れに対抗するため、9 月末からグループ全体で包括的な再編・改革プログラムを開始しました。今後数か月で、システムおよびソリューションの国際的なリーディングプロバイダーとして、SMA のさらに決定的な位置づけを行えるように、財務的、組織的基盤を築きます。当社のアプローチで、ホームソリューション部門および産業用ソリューション (C&I) 部門を将来にわたって発展させ、特別高圧連系・プロジェクトソリューション部門の競争力を引き続き強化していきます。」

SMA の最高財務責任者 (CFO) である Barbara Gregor のコメント「2024 年 1 月から 9 月のホームソリューション部門および産業用ソリューション (C&I) 部門の結果は、当社が開始した再編・改革プログラムの実施を進めることの重要性を浮き彫りにしています。将来的に収益性の高い成長を築くために、SMA を合理化し、効率的にし、そして柔軟な基盤を構築しています。販売数量の減少や需要の変化に合わせてコストベースを調整していきます。太陽光業界は変革期を迎えています。当社は、今回導入した措置により、今後も市場の形成において重要な役割を果たし続けていきます。」

当期純利益は 3,470 万ユーロ (2023 年 1 月-9 月: 1 億 8,040 万ユーロ) でした。これにより、一株あたりの純利益は 1.00 ユーロとなりました (2023 年 1 月-9 月: 5.20 ユーロ)。

SMA グループのフリーキャッシュフローは、純運転資本の増加により、前年の 7,860 万ユーロから -2 億 2,030 万ユーロに減少しました。2024 年 9 月 30 日のネットキャッシュは 4,510 万ユーロで、前年末の水準を下回りました (2023 年 12 月 31 日: 2 億 8,330 万ユーロ)。自己資本比率は 41.8%で、SMA は引き続き良好な自己資本基盤を有しています (2023 年 12 月 31 日: 42.3%)。

2024 年 9 月 30 日時点の受注残は 14 億 3,830 万ユーロでした (2024 年 6 月 30 日: 13 億 4,860 万ユーロ、2023 年 9 月 30 日: 20 億 2,070 万ユーロ)。このうち 4 分の 3 の 10 億 9,870 万ユーロが、製品事業によるものです (2024 年 6 月 30 日: 9 億 8,800 万ユーロ、2023 年 9 月 30 日: 16 億 4,700 万ユーロ)。

再編・改革プログラム

今後、SMA はシステムおよびソリューションの国際的なリーディングプロバイダーとしての地位を強化していきます。9 月に当社はこの方向性を戦略的に進めると同時にホームソリューション部門および産業用ソリューション (C&I) 部門の引き続き厳しい市場に適応するために、グループ全体で再編・改革プログラムを開始しました。コストベースの大幅な削減と流動性の改善のほか、サービスポートフォリオを最適化し、新たな市場での存在感、品質とサービスへの強いコミットメントにより、持続可能で収益性の高い成長を遂げることに集中しています。当社は効率性とアジリティを高めるために、組織構造およびプロセスも最適化します。運用上のコスト削減のほか、前述の措置と想定される 1 億 5,000 万ユーロから 2 億ユーロのコスト削減により、2025 年末までに人員削減が行われ、グローバルで最大 1,100 のフルタイム職種が影響を受けます。うち 3 分の 2 がドイツです。9 月以降、コスト削



減の一環としてポーランドの子会社では試用期間中の従業員が解雇されています。人員削減措置については、現在従業員代表の承認を待っているところです。

ホームソリューションおよび産業用ソリューション (C&I) 市場の減速は続いており、2024 年 9 月に発表された再編・改革プログラムから派生したイニシアティブにより、今会計年度の在庫額の調整や、推定 1 億から 1 億 4,000 万ユーロに上る人員削減費用など、一時的な影響が生じています。さらに、会計上の減価償却費と償却費により、年次財務諸表では EBIT がさらに 2,000 万ユーロから 3,000 万ユーロ減少すると見積もられています。現在、取締役会は EBITDA を-2,000 万ユーロから 2,000 万ユーロ、EBIT を-1 億ユーロから-5,000 万ユーロと予想しています。引当額は、今後も見直される可能性があります。

前述した市場の低迷により、グループの利益は 14 億 5,000 万ユーロから 15 億ユーロの間とわずかに下方修正されます。

追加情報

2024 年 1 月から 9 月までの四半期報告書は、2024 年 11 月 14 日午前 7 時に www.sma.de/en/investor-relations/publications に公開されます。SMA は 2024 年 11 月 14 日午後 1:30 から開催されるアナリスト・投資家向けのカンファレンスコールで事業展開について説明します。アナリスト予想 (コンセンサス) の概要は [Analyst Coverage & Consensus | SMA Solar](#) をご覧ください。

SMA について

SMA グループは太陽光発電および蓄電システム技術で世界を牽引しており、未来の分散型再生可能エネルギー供給を目指し、現在の規格を制定しています。SMA 製品ラインには、あらゆる電力クラスの太陽光発電および蓄電システム、インテリジェントなエネルギー管理システム、電気自動車の充電ソリューション、Power-to-Gas アプリケーション向けソリューションのための、効率的な太陽光発電パワコン、バッテリーインバータ、総合的システムソリューションが幅広く含まれています。他にも総合的サービスを行っているほか、デジタルエネルギーサービスを行っています。過去 20 年間に設置された約 132GW の総出力を有する SMA パワーコンディショナは、年間 7,000 万トン超の CO₂ 排出の削減に貢献しています。数々の賞を獲得した SMA の技術は、1,600 以上の特許や実用新案によって保護されています。2008 年より、グループの親会社である SMA Solar Technology AG は、フランクフルト証券取引所の Prime Standard (S92) に上場し、SDAX 指数および TecDAX 指数に上場しています。

SMA Solar Technology AG

Sonnenallee 1
34266 Niestetal
Germany

Press Contact:

Dagmar Buth-Parvaresh
Tel. +49 561 9522-421414
Presse@SMA.de



Investor Relations Contact:

Viona Brandt

Tel. +49 151 277 658 25

Investor.Relations@SMA.de

免責事項:

本プレスリリースは、情報を提供するためのものであり、SMA Solar Technology AG (以下「当社」という) または現在もしくは将来の当社の子会社 (当社とともに、以下「SMA グループ」という) の証券の引受、取得、保有もしくは販売のために寄付の示唆または勧誘するものではなく、また当社もしくはSMA グループのメンバーの証券の購入もしくは引受けの契約または約束の基礎を形成するものでも、またはそれに関連して依拠されるものでもありません。改正された 1933 年米国証券法による登録または登録の免除がない場合、米国で証券の申し出または販売を行うことはできません。

本プレスリリースには、未来指向の記述が含まれていることがあります。未来志向の記述は、過去の事実を記述したものではありません。また、これらには、当社の想定および予想に関する記述も含まれています。本資料に記載されている内容は、SMA Solar Technology AG (SMA または当社) の取締役会が現在入手可能な計画、概算および予測に基づいています。したがって、未来指向の記述は、それらが作成された日にのみ有効です。したがって、未来指向の記述は、それらが作成された日にのみ有効です。未来指向の記述には、その本質から危険性と不確実性の要素が含まれます。さまざまな既知および未知の危険性、不確実性、およびその他の要因が、実際の業績、財政状態、企業の発展または業績と、ここに記載されている概算との間に著しい差異をもたらす可能性があります。これらの要因には、SMA が発表した報告書で議論したものが含まれます。これらのレポートは、SMA の Web サイト (www.SMA.de) で入手できます。当社は、これらの未来指向の記述を更新する、または未来の出来事や発展に適応させる義務を負わないものとします。